医療法人社団 仁恵会
石 井 病 院
人工透析ひ尿器科じんけいクリニック
Now Vol.224
- Since 2008 JINKEIKAI NEWSPAPER 発行：2026.11

石井病院 栄養管理室 活動報告

第48回 日本臨床栄養学会総会
第47回 日本臨床栄養協会総会
第24回 大連合大会発表 について

この度、「回復期リハビリテーション病棟における栄養状態とFIMの関係に関する研究」と題して、学会発表を行いました。


回復期リハビリテーション病棟における
栄養状態とFIMの関係に関する研究

○吉井優香[1],市橋きくみ[2],中司安里[1],石井洋光[3]

医療法人社団 仁恵会 石井病院 栄養管理室[1] 内科[3]
神戸松蔭大学 人間科学部 食物栄養学科[2]

（**発表者：吉井 優香**　共著者：市橋きくみ、中司安里、石井洋光）

回復期リハビリテーション病棟では、患者さんが日常生活動作(ADL)を改善し、より良い生活を送れるよう支援させていただいております。そのためには、リハビリテーションだけでなく、十分な栄養を摂ることによって身体機能の回復を支えることも欠かせません。

今回の研究では、当院の回復期リハビリテーション病棟で7割を占める運動器疾患(骨折)の患者さんを対象に入院早期の食事からの摂取エネルギー量と栄養状態やADLとの関連を調べました。その結果、リハビリテーションを効率的に進め、ADLを向上させるためには、入院早期から十分なエネルギーを摂取することが必要であり、1日に標準体重1kg当たり26kcalのエネルギーを目安とすることが示唆されました。また、入院早期のエネルギー摂取量は、退院時のBMIとも関連していました。これらの結果から、入院早期からの栄養管理の重要性が明確になりました。

発表の際には、当院でGLIM基準を用いた栄養状態の評価を行うにあたり、管理栄養士だけでなく多職種で連携して評価を行っていることについて、座長の先生からも好評をいただくことができました。

今回の研究を通して、回復期リハビリテーション病棟においては、入院早期から患者さん一人ひとりの栄養状態を把握し、適切な栄養管理を行うことが重要であると再認識しました。今後も多職種で連携しながら、栄養面からも患者さんの機能回復とより良い生活を支えられるよう努めていきます。

最後になりましたが、この場をお借りして、ご協力を頂きました皆様に御礼申し上げます。



いきいき健康塾 × 栄養ラボ135°認定栄養ケア・ステーション
お弁当付き 栄養講座 のご案内



11月6日（金）11：30～13：00　人丸会館にて、石井病院が実施する いきいき健康塾×栄養ラボ135°認定栄養ケア・ステーション お弁当付き栄養講座を開催します。

今回のテーマは「秋の味覚を楽しみながら学ぶ！筋肉を守る！たんぱく質のとり方」です。管理栄養士による講座と、栄養ラボ特製！秋の味覚を取り入れたお弁当を通じて、健康な身体を維持するための食事について楽しく学んでみませんか？　皆さまのご参加をお待ちしております。

※ 右の「QRコード」からチラシをご確認いただけます。

- 先着15名（要予約）TEL 078-918-1655
- 当日はお弁当代として700円（税込）を頂戴いたします。



（チラシQRコード）

人工透析び尿器科じんけいクリニック　～ 通い続けたい その思いを 一緒に ～

ご本人も、ご家族も。透析と暮らしの困りごとを抱えていませんか？

「運転をやめたら、どう通おう」「家族に負担をかけていないかな」
今の困りごとも、この先の不安も、ひとりで抱えなくて大丈夫です。
当院は、治療を続けながら大切にしたい暮らしを、一緒に考えます。



医療法人社団仁恵会
本部課長　兼
副透析センター長
原　真一郎

こんな「気がかり」はありませんか？	
□ 運転を続けることに不安がある	□ 家族の送迎や付き添いが難しい
□ 歩くことや車の乗り降りがつらい	□ 退院した後の通院が心配
□ 一人暮らしの先行きが気になる	□ 介護や費用の相談先が分からない

通院と暮らしの、よくあるご相談



Q1　自分で運転できなくなったら？

じんけいクリニックでは**「送迎」**を行っています。地域・時間帯・お体の状態を伺い、利用できるか確認します。玄関から車までの介助が必要な場合は、ご家族やヘルパーなどの付き添いが必要です。

Q2　家族だけで支えるのが難しくなってきました。

当院、**医療ソーシャルワーカー**（暮らしや制度の相談員）にご相談ください。ご本人の希望とご家族の状況を伺い、介護・福祉制度や費用の相談に応じます。



Q3　退院後の通院や、一人暮らしが心配です。

退院前から、入院先のスタッフや相談員に伝えましょう。「家の段差」「移動の方法」「頼れる人」などを整理し、かかりつけ医やケアマネジャーと相談することが第一歩です。

「通院と暮らしのことを相談したいです」

そのひと言からで大丈夫です。ご本人・ご家族から相談できます。

受付：平日 8：30 ～ 17：00 ／ 土曜 8：30 ～ 17：00

じんけいクリニックへのお問い合わせ　078-913-5733



透析患者様の栄養ワンポイントアドバイス







- 秋の味覚を、量と工夫で楽しみましょう
- 柿・栗・さつまいもなどは、一度にたくさん食べたり、重ねて食べたりしないようにしましょう。
- いも類は、小さく切ってゆでこぼすと、カリウムを減らせます。
- 鍋物は汁を飲み過ぎず、塩分・水分のとり過ぎに気をつけましょう。
- 食べられる量は検査値などに合わせて、主治医・管理栄養士に確認し、無理なく旬を楽しみましょう。

■ 医療連携相談室

TEL　078-918-1512　FAX　078-918-1725
平日　9：00 ～ 12：00　14：00 ～ 17：00
土曜　9：00 ～ 12：00
担当　古門　村上　森

編集・発行

医療法人社団 仁恵会　石井病院
〒 673-0881　明石市天文町1-5-11
TEL　078-918-1655　FAX　078-918-1657
https://jinkeikai-group.or.jp/ishii/

日本医療機能評価機構 認定第 JC2663 号